

公開講座通信

3

2017

今月のテーマ

メンター制度で離職を防止する

何故、離職の“兆し”に気付けないのか

労働力人口の減少により売り手市場となっている採用の現場では、ますます人材確保の競争が激化してきています。また、転職すること自体が以前よりも一般的になってきたため、少しでも「合わないな」と思ったら辞めることを躊躇しない人も増えており、人材確保を使命とする人事担当者にとって、「採用は難しいのに転職はしやすい」という非常に難しい状況におかれていると言えます。そのような中で、採用には力を入れているけど、離職防止のための施策についてはあまり行っていないという人事担当者も多いのではないのでしょうか。

転職をする理由は様々ですが、転職を打ち明けられた時に、「そんなことを思っていたのか、もっと早く相談してくれればよかったのに」ということはよくあることだと思います。価値観が多様化している現在、転職を考えるようになる背景も複雑化してきています。しかし、そういった情報はなかなか人事担当者まで上がってきません。一方現場でも、業務のIT化による対面でのコミュニケーション機会の減少や、プレイングマネージャー化による部下指導にかかる時間の減少などが原因となり、以前よりも人間関係が希薄になってきています。そのため、悩みをもつ社員が相談したくても相談できないという状況が職場に生まれ、気づいたら転職を決断してしまっているということが起きてしまうのです。

生き方や仕事とは何かを一緒に考える先輩が求められる

そんな今、改めて「メンター制度」が注目を集めています。メンター制度とは、知識や経験のあるメンター（先輩）がメンティー（後輩）の相談に乗り、キャリア形成の支援や職場における悩みの解決のサポートを行う制度です。メンター制度は、新入社員の育成や定着化だけでなく、中途社員の早期戦力化、女性の活躍推進、経営幹部の育成など様々な目的で活用されています。いわゆる仕事を指導するだけのOJT担当者ではなく、生き方や仕事とは何かを一緒に考えていく先輩という存在が求められています。特にここ数年は、女性の活躍を推進するための手段としてメンター制度を活用する例が増えており、今までにも増して注目する企業・団体が増えていきます。出産・育児を経験したワーキングマザーがロールモデルとなりメンターとなることで、女性社員の継続的な就業とキャリアの支援を行い、実際に社員の離職率の低下につながったという成果報告もあります。様々な特性や価値観を持った人材が働きやすい環境をつくっていくことが人材の確保につながり、企業の成長につながっていく現在、メンターの重要性は今後ますます高まっていくと考えられます。

● 営業基礎研修～営業の仕組みを知り、営業活動プロセスを学ぶ

本研修では、営業活動における基本的な知識と流れを学んでいただけます。まず最初に、「売上は営業が稼ぐ」という心構えと姿勢について、売上とは何かという基礎知識をふまえて詳しく説明していきます。そのうえで、営業活動を5つのプロセスにわけて、具体的な営業の仕方やその目的についてお伝えいたします。初めて営業される方にもわかりやすい内容です。

● 部下との面談力向上研修

本研修は、部下をもつ管理職（上司）に「部下との面談」の重要性を学んでいただき、実際にどのように面談を実施するかをロールプレイングやワークを通じて習得していただく内容となっております。部下とのコミュニケーションの充実を図りたい方、キックオフ面談や評価面談などで今以上に部下のモチベーションを上げたいと考えている方、本音を聞きたいと考えている方にお勧めです。

NEW
新作研修